



映画に学ぶ

土曜日 10:00～13:00

複雑な現代社会にあって、キリスト教は、現代人とのように関わろうとしているのか。キリスト教の限界と可能性を、映画から学ぶ。

講師：森 一弘（司教）・アシスタント清水 京子（聖パウロ女子修道会）

場所：真生会館

今期は、家庭の崩壊、社会の混乱、紛争・戦争などで翻弄され、過酷な人生を余儀なくされる子どもたちに光をあてた映画を選びました。

9月18日 「ミラル」 ユダヤ人監督のパレスチナ人の視点から製作

イスラエル・パレスチナ紛争の中、3000人もの孤児たちを守るため、資産を注ぎ込み、学校を創設した女性教師とその下で成長していく少女ミラルの物語。（2010年制作）



10月16日 「きっといい日が待っている」 1967年デンマークの施設で起きた事件

父親が自殺し、癌に蝕まれた病気の母親から引き離されて施設に入れられた10歳と13歳の兄弟が、躰の名のもとに行われる暴力や虐めを受けながら、絶望せずに未来を切り拓いていく物語。（2016年制作）



11月13日 「さよなら子供たち」 フランス映画・監督の自伝的作品

1944年のナチスの占領下のフランスのカトリック学校の寄宿舎に三人の少年たちが、ユダヤ人という身分を隠して入寮してくる。終戦間際、何者かの密告によって、校長と三人の少年たちがナチスによって連行され、学校が閉鎖になっていく。（1987年制作）



12月4日 「あの日の声を探して」 第2次チェチェン紛争を題材

侵略してきたロシア軍兵士に目の前で両親を殺され、その衝撃で声を失った9歳の少年と路上でロシア兵士に捕まり無理やり兵士にされ、精神的に病んでいく19歳の少年の物語。残酷な現実の中で、EUの人権委員会に勤めるキャロルが出来ることは、あるのか？（2014年制作）

お申込・お問合せ 一般財団法人真生会館 〒160-0016 東京都新宿区信濃町33番地4
Tel 03-3351-7121・Fax 03-3358-9700
E-mail gakushu@catholic-shinseikaikan.or.jp
URL <http://www.catholi-shinseikaikan.or.jp>

映画に学ぶ * 受講料：一回毎¥1,000- ・ 学生無料（学生証をご提示下さい）

希望日程に 9月18日 10月16日 11月13日 12月4日

お名前

TEL

Email